

平成30年度組織化促進強化月間 実施計画書

～ 中小企業連携で“みえの元気”を育てます ～

三重県中小企業団体中央会

現在の日本の景気は改善しつつあるものの、中小企業を取り巻く環境は厳しいものがあり、特に、経営規模が小さいと資金調達力や情報収集力が弱く、国内市場の低迷や原材料の上昇等による国内産業の空洞化、人材不足等の様々な課題を抱えており、厳しい経営を余儀なくされている現状です。

しかし、中小企業は地域経済の要であり、地域産業の重要な担い手であることから、地域全体の活性化に果たす役割も非常に大きなものがあります。また、中小企業には古くから地域に伝わる伝統・文化の担い手となっている場合が数多くあります。

そのような中で、我々、三重県中小企業団体中央会が支援する組合等の中小企業連携組織は、ものづくり現場の中核として我が国の基盤的分野である製造業の競争力を支えているほか、地域での伝統や文化を守り、地域社会の活性化を推進する重要な役割を果たしており、地域経済団体として幅広い活動を展開しています。

そこで、中央会では、今後も組合等の組織化を通じた地域中小企業の新たな戦略的取組みを積極的に支援していくために、11月を「組織化促進強化月間」と定め、「中小企業連携で“みえの元気”を育てます」をキャッチフレーズにして、連携組織の積極的な活用とその強化を図るための活動を展開することと致しました。

本年度の「組織化促進強化月間」の活動の柱は次のとおりとします。

1. 連携組織に関する広報活動

組合等連携組織を活用した新技術・新製品開発、市場開拓、共同生産・販売、共同受注、IT化推進、物流効率化、環境・リサイクル対応等の支援を通じ、中小企業の経営の効率化、新事業の展開等経営革新の推進を図る。

2. 新たな連携の構築支援

新たな組織化ニーズを掘り起こし、事業化を目指した組合等連携組織の構築支援等を通じ、共同事業による新たな事業創出を推進する。

3. 創業の支援

企業組合の設立支援等を通じ、新規創業の促進を図る。

以上の活動方針を踏まえ、中央会では11月に巡回指導員が三重県内の市役所・役場（29）、商工会議所（12）、商工会（25）を訪問し、中小企業組合ガイドブックを配布しながら組合等連携組織に関する広報活動としての情報収集・提供を行い、新たな連携組織の構築支援や創業の支援等を実施します。